

副会長の会務報告

令和7年度日本弁理士会副会長の権正英樹です。副会長としての任務も折り返しを過ぎましたので、これまでの会務についてご報告させていただきます。

弁理士 権正 英樹

本年度の役員会は、会長、北村修一郎先生（西弁）、8名の副会長、青木博通先生（南甲）、高松俊雄先生（無名）、高田大輔先生（同友）、高橋雅和先生（P A）、小谷昌崇先生（西弁）、小澤壯夫先生（西弁）、高橋昌義先生（春秋）、権正英樹（弁ク）、そして18名の執行理事、本多敬子先生（P A）、上羽秀敏先生（西弁）、米山尚志先生（無名）、大貫敏史先生（稲門）、宮嶋学先生（無名）、永田元昭先生（西弁）、山田強先生（南甲）、服部秀一先生（南甲）、三苫貴織先生（弁ク）、岡本武也先生（春秋）、池上美穂先生（無名）、佐藤雄哉先生（南甲）、飯塚健先生（稲門）、藤田典彦先生（西弁）、帯包浩司先生（P A）、高下雅弘先生（同友）、藤村明彦先生（春秋）、荻弥生先生（同友）によって構成されています。なお、北村会長は関西在住の先生であり、関東圏以外からの会長は今回が初めてとなります。

私の担当する附属機関や委員会などは、広報センター、防災会議、財務委員会、弁理士法改正委員会、不正競争防止法委員会、農水知財対応委員会、東北会、イベント開催WGです。これらのうち、財務委員会と農水知財対応委員会は、弁ク会員が委員長を務めています。また、本年度は、全33委員会のうち7つの委員会で、弁クから委員長が輩出されています。7名の委員長は、折居章先生（選挙管理委員会）、山川茂樹先生（不服審査委員会）、奥川勝利先生（弁理士推薦委員会）、小越一輝先生（財務委員会）、森廣亮太先生（意匠委員会）、國井久美子先生（農水知財対応委員会）、今堀克彦先生（総合企画政策委員会）です。

会務報告としては、私の担当の中で本年度特に注力している、広報センターと農水知財対応委員会の2つを報告いたします。

広報センターでは、会内の情報を集めて広報していく仕組み作りを進めており、現在、その仕組みの試行を行っています。次年度から本格運用を予定しています。会内情報は、各委員会と事務局からGoogleフォームを利用して系統的に情報収集する方法を採用しました。そして、集めた情報は、Xとnoteという2つのSNSで、発信していきます。Xでは、比較的簡易な情報をタイムリーに発信し、noteでは、イベント報告などの比較的ボリュームのある情報を発信します。なお、noteについては、各委員会の負担を軽減するため外部業者による記事作成を採用いたします。

農水知財対応委員会では、地域会における農水知財対応力の向上を目指し、施策を

実行しております。本年度は、同委員会と各地域会との会合を設け、農水知財対応力についてヒアリングを行いました。その上で、本年度中に4つの地域会（東海会、関西会、中国会、四国会）において、要望に応じた研修を実施する予定です。次年度は、農水知財対応委員会と各地域会とで共同イベントなどを開催し、最終的には、農水知財経営に関する伴走支援の実施を目標としています。

今年の4月1日より、大変貴重な経験をさせていただいています。残りの任期も約4か月となりましたが、最後まで精一杯努める所存です。引き続き温かいご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上